

平成30年度 うみ保育園事業計画書

概要

幼保連携型認定こども園

教育・保育を一体的に行う、いわば幼稚園と保育園の両方の良さを併せ持つ幼保連携型認定こども園として、国の制度や地域のニーズに応え安定した事業所運営に努めていきます。

定員

学 年	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
1 号	—	—	—	4 人	4 人	4 人	1 2 人
2 号・3 号	9 人	1 2 人	1 5 人	1 7 人	1 8 人	1 9 人	9 0 人
合 計	9 人	1 2 人	1 5 人	2 1 人	2 2 人	2 3 人	1 0 2 人

1 施設運営方針

教育及び保育の基本方針

「安心」「自信」「自由」をキーワードに大切な子どもたちの成長を願う。

「安心」

子どもたちが安心して遊び学べ、保護者の方に安心して預けてもらえるこども園作りをします。近隣の方や行政にお願いして、子どもたちが安心して暮らしていける環境づくりに取り組みます。

「自信」

子どもたちが、自分の意見やアイデア、計画などを自分らしさの中で考えてもらいたい。そのためには、子どもたちにさまざまな経験の中で自信を持たせることが必要だと考えます。ほめる、認める、一緒に考える、遊ぶ、学ぶの中で、一人の人間として自信を持つ子どもたちへ育てていきます。

「自由」

幼児期の子どもたちは、社会性を身につける意味で大切な時期です。自信を持って個性を発揮する一方、のびのびと自由にするためには、他の人の存在や自由も認めなければいけない。それが「思いやり」でありとても大切な事だと伝えていきます。

2 児童の処遇方針

ア 理念

子どもの心を大切に、常に子どもの視点に立って接していくなかで、子ども達が安心して生活できること(満足)、そして一人一人の子どもがもっている限りない可能性を、子ども自身の力で開花させていくこと(感動)、いろいろな体験を通して、のびのびと過ごし、「生きる力」を身につけること(生きがい)。これらの保育実践を職員がそれぞれの役割を担い深い愛情とたゆまぬ努力により実践すること。また豊かな創造性を持った子どもたちの健全育成を使命とし社会貢献にあたります。

イ 教育及び保育方針

「子どもは子どもらしく」を基本に、のびのびとした環境の中で、想像力、集中力を養う。心豊かな成長を願い、メリハリのある保育を目指します。

- ・心と体の健やかな成長を願う。
- ・豊かな感性を養う。
- ・人を思いやる優しい心を養う。
- ・のびのび想像する力をつける。
- ・基本的生活習慣を身に付ける。

3 日課・年間予定

ア デイリープログラム

1号認定

	3歳児	4歳児	5歳児
9時	順次登園 視診・触診・着替え	順次登園 視診・触診・着替え	順次登園 視診・触診・着替え
	教育保育活動	教育保育活動	教育保育活動
10時			
11時			
	給食	給食	給食
12時	自由遊び	自由遊び	自由遊び
13時	降園準備 順次降園 預かり保育	降園準備 順次降園 預かり保育	降園準備 順次降園 預かり保育
17時	保育終了		

2号 3号認定

	0歳児	1歳児	2歳児	3・4歳児	5歳児			
7時	順次登園 視診・触診・検温	順次登園 視診・触診	順次登園 視診・触診	順次登園 視診・触診	順次登園 視診・触診			
8時	衣類点検・おむつ 交換	着替え 自由遊び	着替え 自由遊び	着替え 自由遊び	着替え 自由遊び			
9時	自由遊び	かたづけ	かたづけ	かたづけ	かたづけ			
10時	おやつ おむつ交 換 設定保育又は 睡眠(月齢による)	おやつ 設定保育	おやつ 設定保育	教育保育活動	教育保育活動			
	11時	給食	給食			給食	給食	
12時	午睡	午睡	午睡	午睡 3歳のみ 4歳は活動	活動 就学前準備			
13時	おむつ交換 着替え					着替え	着替え	着替え
14時						おやつ 自由遊び	おやつ 自由遊び	おやつ 自由遊び
15時	降園準備 順次降園	降園準備 順次降園	降園準備 順次降園	降園準備 順次降園	降園準備 順次降園			
16時	軽食	軽食	軽食	軽食	軽食			
17時								
18時	保育終了	保育終了	保育終了	保育終了	保育終了			
19時								
20時								

イ 年間プログラム

多種多様な行事を実施し、日本の四季・古来の伝統などを肌で感じてもらいます。また、各行事に参加することにより団体での連帯感も養います。味覚狩りにも積極的に出かけ、自然の移り変わりに関心をもたせ、四季の旬の果物、野菜の収穫を実際に体験します。また、連携園のにじ保育園とも合同行事を行います。

主 な 行 事	
4月	入園進級式 イチゴ狩り
5月	こどもの日集会 参観週間
6月	プール開き 乳児運動レク
7月	星観察 七夕会 夏まつり
8月	
9月	お泊りキャンプ 栗拾い 運動会
10月	芋ほり
11月	みかん狩り 参観日
12月	生活発表会 お餅つき クリスマス会 年末集会
1月	お正月お楽しみ会
2月	節分会
3月	ひな祭り会 お別れ遠足 幼児マラソン 卒園式

ウ 各種教室

外部講師による体操指導(3歳児以上)、そろばん教室(4歳児以上)、英会話教室(4歳児以上)、リトミック教室(全園児)を無料で実施します。

5歳児、書道硬筆教室を実施。

エ 楽器演奏

主にピアノカを使用しクラスの仲間と楽しみながら演奏し、発表する機会を設けます。

オ 食育への取り組み

幼児を対象に野菜作りの収穫やクッキングで食への感心につなげます。

カ 造形あそび

全園児対象に四季を知る機会として製作物を通して表現することを楽しみます。また、コンクール等の案内があれば出品します。

4 健康管理

「よく遊び」「よく学び」「よく食べて」「よく眠る」。この全てを行うことにより、健康に成長していくと考えます。各検診により早期発見、早期アドバイスをを行い、保育園生活が健康に送れるよう援助します。

種 類	対象者及び実施月
健康診断	乳児 月1回
	幼児 4月と10月
歯科検診	6月と11月
耳鼻科検診	3歳児以上 6月
眼科検診	6月
尿検査	2歳児以上 6月

5 給 食

質や量のバランスを考えた献立を作成する。季節の素材を積極的に取り入れ、できるだけ地元の食材を利用し、嗜好に富んだ食事を提供します。

保護者や医師と連携してアレルギー除去食も提供します。世界の料理、郷土料理、絵本の料理、バイキング料理を提供することで、食事をするというより「食事の時間を楽しむ」環境作りを行います。

6 地域とのかかわり

自治会や地域の教育関係団体と相互理解を図り、地域と一体となって子どもの健全育成に貢献します。

- ・ 町内会の行事には積極的に参加し協力します。園の行事にもお誘いします。
- ・ 近隣の小学校とも連絡を密にし、卒園児がスムーズに進学できるよう努めます。

7 防災、安全・衛生管理

ア 防災訓練

保育中におけるさまざまな災害に対して、全職員が速やかに対応できるように訓練を行います。

避難消火訓練	月 1 回
--------	-------

イ 非常災害備品

非常災害備品の点検補充をします。

ウ 安全管理

交通安全教室、防犯教室を年に 1 回実施します。

エ 健康診断

職員に対して、3 月に健康診断を実施します。

オ 衛生管理

- ・ 食中毒対策として、専門業者により調理室の衛生検査を行います。
- ・ 専門業者により調理室付近の害虫駆除をします。
- ・ 給食職員と 0 歳 1 歳児担当職員は、月 1 回、7 月から 10 月は月 2 回の検便を行います。給食職員は、10 月から 3 月は、ノロウイルス検査も実施します。

8 職員

ア 資質向上

専門職としての自己研鑽に努め、情報交換を図りながら互いの資質向上に努めます。施設外研修などにも積極的に参加し自己の力量の向上に努めます。また職場内研修を通じ全職員のモチベーションアップに努めます。

イ 職員確保

保育士を確保するため、保育士課程校と協力体制を執ります。

ウ 各種会議

- ・ 定例職員会 月 1 回
- ・ 給食会議、アレルギー会議 月 1 回
- ・ 安全対策委員会 随時
- ・ 苦情解決委員会 随時
- ・ サービス向上委員会 随時
- ・ 個別ケース会議 随時

エ 福利厚生

JTB 福利厚生サービスに加入します。

オ 一般事業主行動計画

次世代育成支援として年次有給休暇の取得促進、子ども参観日の実施に取り組みます。

カ 専門資格への補助

幼稚園教諭資格取得及び幼稚園教諭資格の更新について取得する時間や費用を補助します。

9 子育て支援

0歳児から就学前の子どもを持つ保護者を対象に次の子育て相談を受けます。

- ・保育園にて平日の10時から15時まで相談を受けます。
- ・インターネットによる24時間相談受付を行います。
- ・月1回、親子遊び、物づくり、園庭開放などを開催し、保育園に気軽に来ていただけるように努めます。

10 病児保育事業(体調不良対応型)

園において体調不良になった子どもに対して、常勤看護師による個別医務室での対応により、家族にも子どもにも安心できる体制を整えます。

11 一時預かり事業

就学前児童を対象に一時預かり事業を実施します。

受入時間 午前7時00分から午後6時00分まで

利用定員 1日10名程度

12 地域子育て支援拠点事業

地域の子育て親子の交流等を促進するため実施します。

概ね3歳未満児及び保護者

受入時間 午前9時00分から午後2時00分まで

利用定員 1日10組程度

13 1号認定児童の受け入れ

今年度より、幼保連携認定こども園へ移行したことにより、1号認定枠(満3歳以上で就学前の保育の必要がない子供たち)を設けた為、その受入も積極的に行います。